

優良技術者説明書

工事番号	下紫補第1号	工事名	紫雲寺藤塚浜処理分区(653他)管渠工事
施工場所	藤塚浜	請負金額	62,887,000
工期	令和2年6月10日～令和3年1月15日		
施工業者	㈱小池組	代表者	小池 金一
現場代理人	小林 善明	主任(監理)技術者	小林 善明
【工事概要】 施工延長 L=430m 開削工φ150 L=424m 1号マンホール工 5基 小口径マンホール工 5基 公共ます設置工 12箇所	一次下請内容	工種	開削工事
		〃	舗装切断
		〃	家屋調査
		〃	交通誘導
		〃	インバート
		〃	TVカメラ調査
		業者数	6
成績評定点	85点		

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】
本工事は住宅密集地で集落の主要道路となっている交通量の多い路線の下水道工事であった。
①丁寧な交通誘導の徹底と、地域住民にとって見やすい交通規制看板を事前に掲示することにより、交通量の多い道路上での工事であったが、接触事故はもとより交通規制に関する苦情は無かった。②試掘調査を徹底して行い水道管の状況を確認したことで、水道管の破損事故起こすことなく、工事を完了させた。③360°視野のバックホウカメラシステムを搭載し、安全な施工に大きく寄与している。
竣工図書においても、非常に見やすく作成されており、他工事に対しても模範的な工事内容である。

【総括監督員】
本工事では、①作業時におけるオペレーターからの死角をカバーするため、バックホウカメラを活用することで接触事故防止対策を講じた。②雨天時においても、改良土の品質確保にも十分な対策を講じて、高含水比になったことに伴う品質低下もなく、適切な締固め作業を行った。③ひらがな表記やイラストを使用した完全施設活用による第三者災害防止対策を行った。
以上、他の工事に模範となる工事内容である。

【説明を補足する写真、図面、略図】



・交通量の多い主要道路であったが、丁寧な交通誘導と住民に見やすい規制看板の配置により、苦情、事故なく工事を完了させた。



・試掘調査を徹底して行い、不明点が多い水道管の位置を確認し現地に記したことで、水道管破損事故起こすことなく、工事を完了させた。



・360°視野のバックホウカメラシステムを搭載し、安全な施工に大きく寄与している。

・水洗化看板を掲示し地域の水洗化率向上を促進した。

優良技術者説明書

工事番号	下複第4号	工事名	新発田北部処理分区(665-33他)管渠工事
施工場所	城北町1丁目	請負金額	85,910,000円
工期	令和2年7月15日～令和3年3月21日		
施工業者	(株)熊倉組	代表者	中村 一良
現場代理人	横山 正樹	主任(監理)技術者	横山 正樹
【工事概要】 施工延長 L=343m 開削工 Φ150 L=94m Φ200 L=43m 推進工Φ150 L=17m Φ200 L=171m 1号マンホール工 N=11基 小型マンホール工 N=8基 公共ます設置工 N=13箇所	一次下請内容	工種	管渠推進
		"	舗装切断工
		"	家屋調査
		"	底部インバート工
		業者数	5社
		下請率	
成績評定点		83点	
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 推進工法では、推進管の品質(法線・基準高さ)、出来形、安全管理においても秀でており、L=171mの推進工事は高い精度で完成することが出来たことは他の模範とするところである。また、住宅街での施工でも段取りよく施工しかつ、近隣住民とのトラブルもなく施工できた。		
	【総括監督員】 当該工事を安全に行うため、架空線や埋設位置を現地に明示し、注意喚起を行ったこと、作業員一人一人が振動に自覚を持つため、振動測定器を使って測定したこと、また、遺跡調査対象範囲であることから、遺跡調査に協力したり、市街地につき、歩行者の安全確保のため、除排雪後に、塩カルを散布したことなど、模範となる点が評価できる。		

【説明を補足する写真、図面、略図】



止水器取付完了



スピーダヘッド到達



塩び管据付完了



塩び管貫通確認



精度確認



優良技術者説明書

工事番号	自災 第1号	工事名	城北1号雨水幹線整備その4工事
施工場所	小舟町3丁目	請負金額	54,549,000
工期	自 令和 2年 8月12日 ~ 至 令和 3年 3月 9日		
施工業者	(株)石井組	代表者	代表取締役社長 石井 和郎
現場代理人	森 弘樹	主任(監理)技術者	森 弘樹
【工事概要】 施工延長 L=39.7m ボックスカルバート布設(1800*1500) L=17.7m 大型フリューム布設(1800*1600) L=16m エコカルバート布設(1800*1700) L=6m 舗装復旧工 A=286㎡	一次下請内容	工種	給水管仮設・本設工
		工種	供給管仮設・本設工
		工種	ボックスカルバート布設工
		工種	鋼矢板打込工
		工種	構造物撤去工
		工種	舗装復旧工
		業者数	8社
		下請率	
成績評定点	83		

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】
当該工事は、総合評価「実績型」の工事であった。公共施設の乗入れ部については施工時期及び方法に様々な制限がある中で施工をしなければならない現場条件に加え、近隣企業の大型車の通行を昼夜問わず確保しながらの施工、その条件下で市が求めた事前の関係者への周知徹底等を確実に実行し、且つ現場作業に携わる作業員への教育等の徹底を図り、問題なく工事を完成させた事は評価できる。

【総括監督員】
当該工事を安全に進めるため、夜間照明の導入や車庫に筋交いを入れる等の工夫を施したこと、また、路上でしゃがみ込んでいる老人を保護し、警察に連絡する等の臨機に対応を行ったことなど、他の模範となる点が評価できる。

【説明を補足する写真、図面、略図】



公共施設(自衛隊通信所)との事前協議(施工時期及び施工方法)での決定事項を現場で確実に実行



夜間作業時の交通開放のための安全対策の徹底



複数の業者(下請等)に対する徹底した安全教育